

# ズバリ 町政を問う

9人が登壇

**問** 「ふるさと納税」で産業活性化を

**答** 早急にスタートできるように検討



酒向 弘康 議員

**問** 「ふるさと納税」に関する寄付の状況は。

**答** 総務部長 平成23年度以降、町外からの寄付はない。町内から町外へは平成26年度、106人で700万円である。

**問** 寄付者へのお礼の気持ちのあらしめ方と手続き改善の進捗状況は。

**答** 広報誌とパンフレットを送る準備をした。また

**問** インターネット申請を可能にしたが、ともに実績はなし。

**答** 「ものづくり・幸田」をアピールするため、町内企業の工業製品を全国に向け、制度の中で情報発信していくことが、地域経済と町全体の活性化

**問** のキッカケづくりに繋がる。制度の積極的活用を。

**答** 町長 「ものづくりの町」「企業の町」をPRしながら、制度を最大限に活用し、早急にスタートできるように検討をしていく。



日本一の筆柿を全国へ

**問** 「防災基本条例」の制定を

**答** 県と調整し研究をしていく

**問** 「災害時相互応援協定」の4市町との防災・減災対策の成果と、新たな自治体との締結計画は。

**答** 総務部長 震度4以上の地震発生時は、被害状況を確認している。文化面、教育面で交流している。新たな計画はない。

**問** 総合防災訓練で「シエイクアウト、ボランティア支援本部設置訓練」が取り入れられたが、成果と新たな取り組みは。

**答** 消防長 みずからの命を守る基本的な動作や防災の意識づけができた。学区などの訓練にも実施したい。

**問** JRガード下道路の増水状況を住民にもリアルタイムで確認できる映像情報の提供を。

**答** 建設部長 今年度、ウエブカメラの設置を予定している。錦田ガードは、三河湾ネットワークの負担で設置。仲田と鷺田立地は、町が設置していく。

**問** 耳の不自由な方が望む「メール119番」の実現を。

**答** 消防長 早い時期に整備していきたい。

**問** 「安全・安心の町・幸田町」として、防災基本条例の制定を。

**答** 町長 県と調整し研究をしていく。